

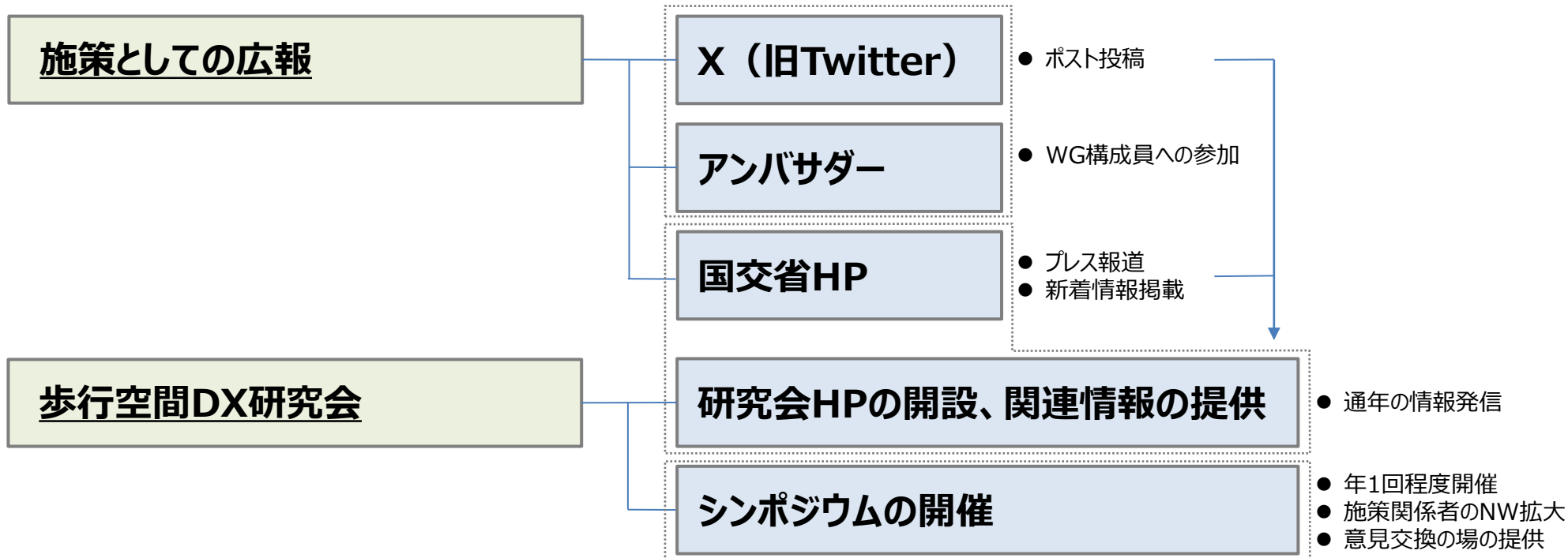
# 広報（歩行空間DX研究会の活動等）の 実施状況の報告

---

令和6年3月  
政策統括官付

- 従来の広報に加え、提言を踏まえた歩行空間DX研究会としての活動を展開。
- 自治体や民間事業者、障害者団体、一般市民含め広く認知度を上げるため、X（旧Twitter）やHP、シンポジウムなどにより効果的な広報を実施。

## 広報活動の体系フロー



- 研究会の活動として、第1回「歩行空間DX研究会シンポジウム」を令和6年1月16日に開催。
- 『持続可能な移動支援サービスの普及・展開に向けて』をテーマとし、有識者、民間事業者、行政等の関係者にご登壇いただき、基調講演、取組紹介、パネルディスカッション等による意見交換・情報共有を実施。

- 歩行空間DX研究会 シンポジウム ～「持続可能」な移動支援サービスの普及・展開に向けて～
- 開催日程：令和6年1月16日（火）15：00～17：30
- 会場：東洋大学 INIAD／オンライン（同時配信）

## 歩行空間DX研究会シンポジウム

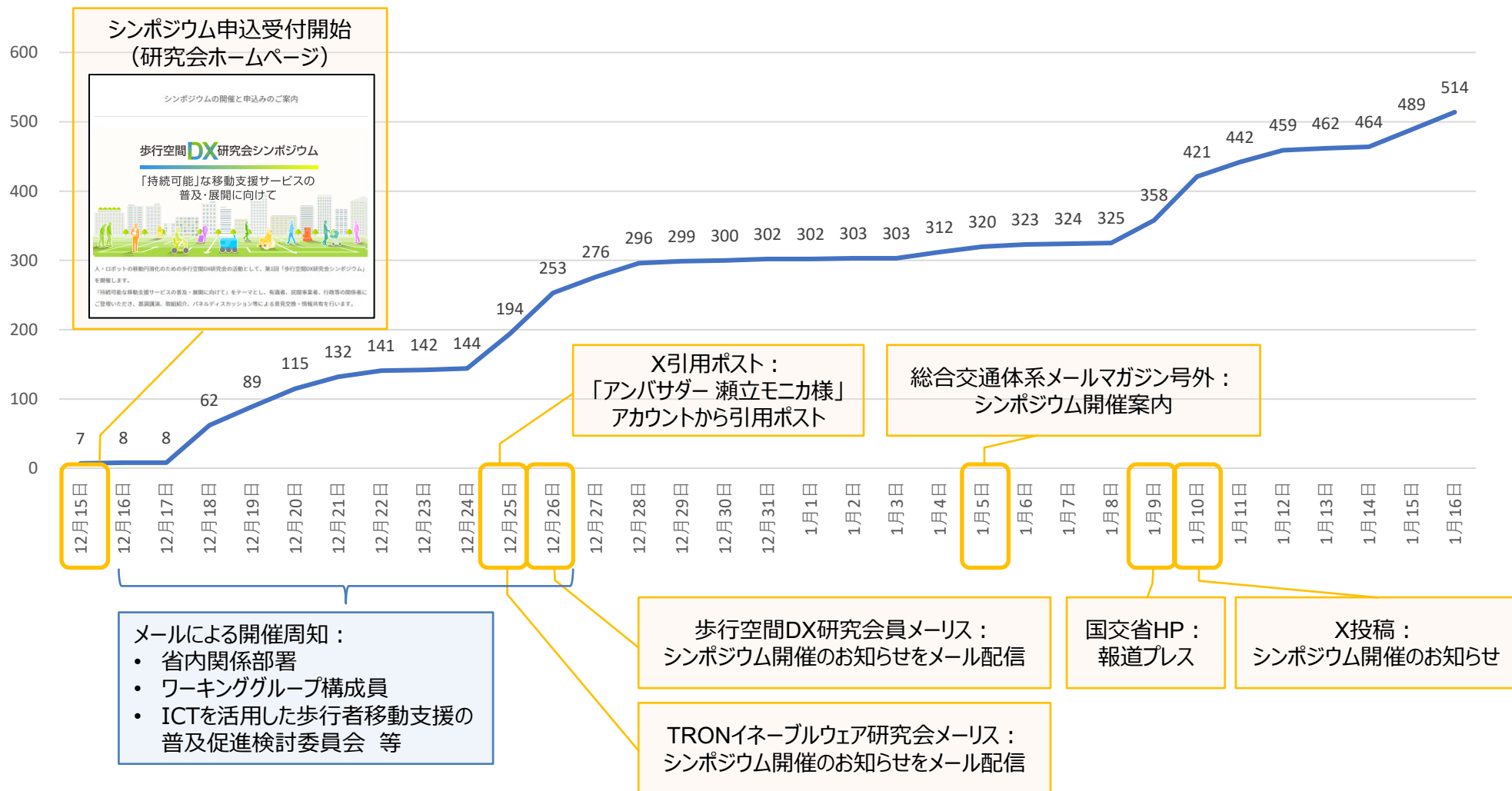
「持続可能」な移動支援サービスの  
普及・展開に向けて



参加方法	来場	オンライン	合計
事前 申込人数	60	454	<b>514</b>
当日 参加人数	39	339	<b>378</b>

# シンポジウム開催までの参加申込推移

2023年12月15日に研究会HP上でシンポジウムの参加申込受付を開始。  
各種メールリストによる開催案内やXでの投稿、報道プレス等の広報を段階的に実施。



# 第1部 プロジェクト紹介・プレゼンテーション



開会挨拶  
国土交通省 小善政策統括官

研究会会長の小善政策統括官から本シンポジウムがユニバーサル社会の実現に繋がることを期待する旨の開会挨拶をさせていただきました。



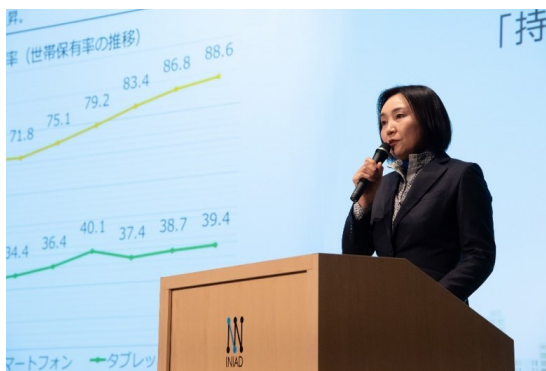
研究会への期待  
東洋大学 坂村教授

研究会顧問の坂村教授からプロジェクト発足の経緯と本研究会への期待についてご講演いただきました。



ビデオメッセージ  
森内閣総理大臣補佐官

能登半島地震のためビデオメッセージでご出演いただいた森内閣総理大臣補佐官から産官学のコミュニティ形成によってユニバーサル社会実現の加速を期待する旨のメッセージをいただきました。



施策紹介  
国土交通省総合政策局総務課  
松田政策企画官

松田政策企画官から本研究会の設立経緯や本プロジェクトの取組みについての紹介を行った。



取組報告:歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ  
東洋大学 別所教授

別所教授から歩行空間ネットワークデータ等を効率的に整備・更新・運用していくための仕様改定やデータ整備プラットフォーム（ほこナビDP）についての検討状況を報告いただきました。



取組報告:歩行空間の3次元地図ワーキンググループ  
日本大学 佐田教授

佐田教授から3次元点群を用いたデータ整備の効率化や実証実験を踏まえた自動配送ロボット等へ活用要件についての検討状況をご報告いただきました。



## 第2部 パネルディスカッション



コーディネーター：坂村教授

第2部では、坂村教授をコーディネーターとしたパネルディスカッションや会場からの質問も交えた意見交換が行われた。



ウィーログ 織田代表理事

NPO法人ウィーログの織田代表理事からは、障がい当事者の立場から車いすでもあきらめない世界をつくるための取り組みをご紹介いただき、データ公開の重要性についてご意見いただいた。



渋谷区 高橋氏

渋谷区の高橋氏からは、渋谷区のオープンデータに関する取組をご紹介いただき、自治体の立場からデータを整備するための動機付けの重要性についてご意見いただいた。



ソフトバンク 古谷氏

ソフトバンクの古谷氏からは、ロボットの社会実装に向けた取組をご紹介いただき、ロボットが移動するための環境整備と人の移動をより高度に支援する環境整備のつながりについてご意見いただいた。



東洋大学 別所教授

東洋大学の別所教授からは、IoT・AI技術を応用した障害者支援の取組についてご紹介いただいた。



日本大学 佐田教授

日本大学の佐田教授からは、3次元点群を用いたバリア抽出に関する研究についてご紹介いただいた。



パネルディスカッションの様子

シンポジウム参加者を対象に歩行空間DXの取組についてアンケート（自由記述）を実施。本プロジェクトの取組やシンポジウムに対して、ポジティブな意見が多く、ロボットの移動という視点を入れることで「突破口になる」という意見や、「パネルディスカッションの時間をもっと取ってほしい」という要望が見られた。

## 「歩行空間DXに関する取組について、良い点や今後に向けた改善点を自由にご記入ください」

歩行空間ネットワークデータの作成が、これまでなかなか進みませんでしたが、作成側はAIやセンサーが、利用側はロボットによる利用が、突破口になりそうな期待が持てる会になり良かったです。

ディスカッション、質問・回答の時間をもっと取ってほしい。

とても勉強になりました。是非、省庁の方にもパネルディスカッションに参加頂きたい

デジタル（抽象空間）の実装（実空間との連結）は問題だらけなので、まずはこういう歩行空間からDXが丁寧に進むのは分かり易くて、議論しやすく良いと思いました。個人的には歩行空間だけでなく全国土のデジタル化、そして、DXが進むと生産性向上が図られると考えています。ただ、現状は何のためのデータなのか、B/Cがあるのかが問われるため、基礎データさえも揃わない、データが無いと最新AIも動かない、そして、ロボットも動かないに思っています。登壇者の方が言われていましたが、ロボットありきで考えると、意外と物事が進むのかもしれない。

歩行空間・道路に関するオープンデータの推進が進んでいることを知れてよかった。活用していきたいと思いました。

国交省の取り組みを知れたのは良かった。もう少し、世の中にやっていることを宣伝したらどうでしょうか。

万人にとっての日常生活における歩行空間が、より豊かに且つ充実したコト・モノになるように、本シンポジウム活動がダイナミックに躍進し、社会実装が早期に拡充することを期待・切望します。

非常に有意義なシンポジウムだった。来年度以降の研究に反映したい。

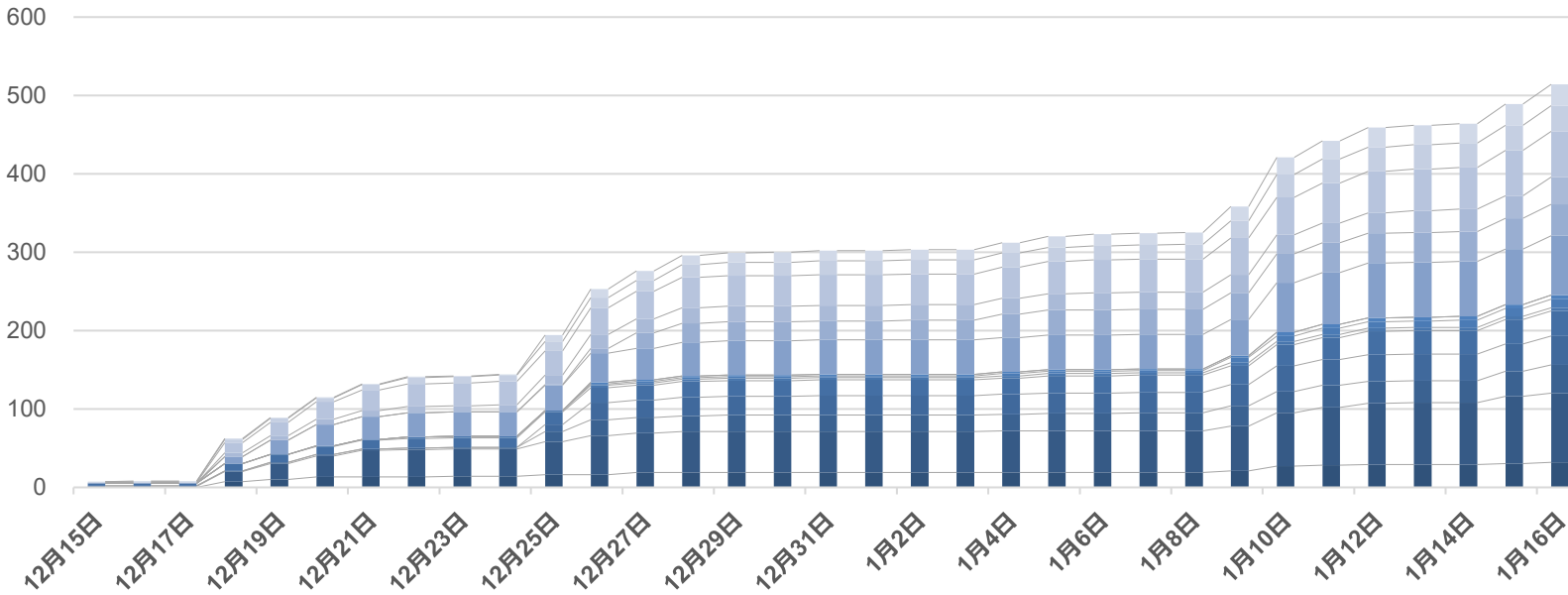
人とだけでなくロボットも移動できる環境整備の視点はいままで気にも留めておらず、新たな知見を得られました。ロボットが移動しやすいことは人も移動しやすくなることは明白です。

非常に良い取り組みをされており、より積極的に活動を継続して頂きたい。また、シンポジウムも回数を増やして開催してください。

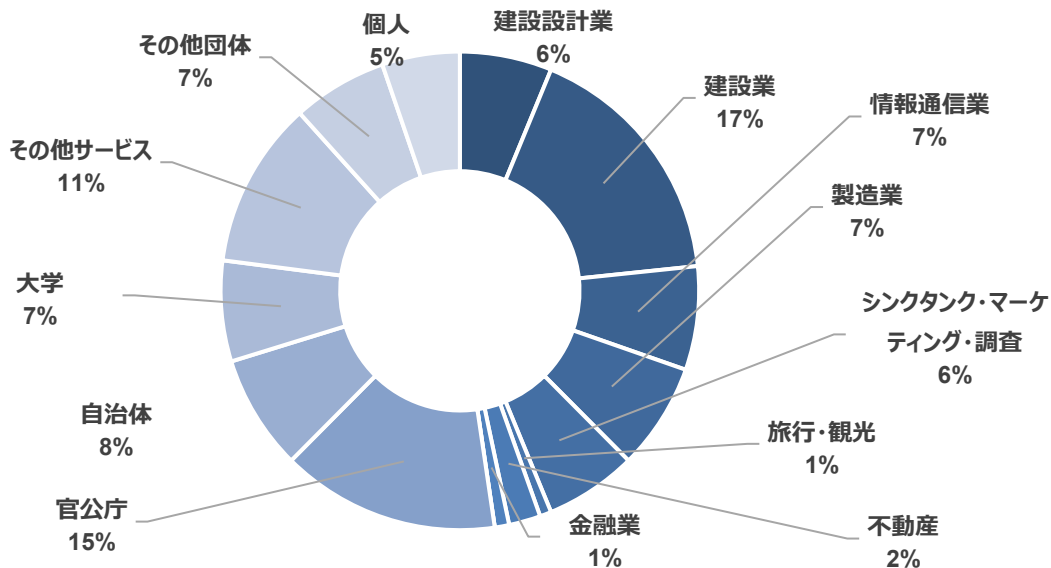
様々なステークホルダー、業界の人同士の率直な議論を期待



# (参考) シンポジウム参加申込数の推移 (業種別・累計)



- 個人
- その他団体
- その他サービス
- 大学
- 自治体
- 官公庁
- 空輸
- 金融業
- 不動産
- 旅行・観光
- シンクタンク・マーケティング・調査
- 製造業
- 情報通信業
- 建設業
- 建設設計業



- 建設設計業
- 建設業
- 情報通信業
- 製造業
- シンクタンク・マーケティング・調査
- 旅行・観光
- 不動産
- 金融業
- 官公庁
- 自治体
- 大学
- その他サービス
- その他団体
- 個人

建設・設計業をはじめ各業種や自治体から広く参加申込があった。



# 人・ロボットの移動円滑化のための歩行空間DX研究会ホームページ

令和5年6月に歩行空間DX研究会の設立に合わせて、新規ホームページを開設。研究会メンバーの参加フォーム、ワーキングの活動状況報告、独自の取材記事等を提供。シンポジウム開催期間は、案内ページや申込フォームといった特設ページを開設。

## ホームページ開設、イベント参加申込フォームの設置

**シンポジウム案内ページ**

シンポジウムの開催と申込みのご案内

### 歩行空間DX研究会シンポジウム

#### 「持続可能」な移動支援サービスの普及・展開に向けて

人・ロボットの移動円滑化のための歩行空間DX研究会の活動として、第1回「歩行空間DX研究会シンポジウム」を開催します。

『持続可能な移動支援サービスの普及・展開に向けて』をテーマとし、有識者、民間事業者、行政等の関係者にご登壇いただき、基調講演、取組紹介、パネルディスカッション等による意見交換・情報共有を行います。

## ワーキンググループ活動報告

活動報告

イベント

- 2024.02.01 令和5年度第2回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました。
- 2024.01.26 令和5年度第1回「歩行空間の3次元地図ワーキンググループ」を開催しました。
- 2023.12.08 令和5年度第1回「ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」を開催しました。
- 2023.08.29 令和5年度第3回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました。
- 2023.08.05 令和5年度第2回「歩行空間の3次元地図ワーキンググループ」を開催しました。
- 2023.07.05 令和5年度第1回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました。

令和5年度第3回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」を開催しました

令和5年度第3回「歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ」が、2024年2月15日（木）に開催されました。

座長の東洋大学・別所教授をはじめとした4名の有識者や自治体、歩行空間のデータを活用する各事業者といったワーキンググループメンバーの方にご参加いただきました。

第3回となる今回のワーキングでは、モビリティの性能や道路の移乗等円滑化基準に応じたランク区分を導入した歩行空間ネットワークデータや写真測量データの活用方針や、歩行空間ナビゲーションデータプラットフォーム（通称：「ほこナビDP」）に実装する各種データやナビDPの運用等に関して活発な議論が行われました。

当日の資料等に関しては、下記の国土交通省のHPよりご覧ください。  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseitaku/soukou/sogoseitaku\\_soukou\\_fr\\_000048.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseitaku/soukou/sogoseitaku_soukou_fr_000048.html)

## 独自取材記事の発信

JR川崎駅周辺で多様な3次元点群データを自動配送ロボットの走行に活用するための実証を行いました。

2023年12月18日（月）～20日（水）の3日間、JR川崎駅周辺において、歩行空間における移動支援サービスの普及・高度化に向け、多様な3次元点群データを自動配送ロボット等の走行に活用するための実証を行いました。

関連記事

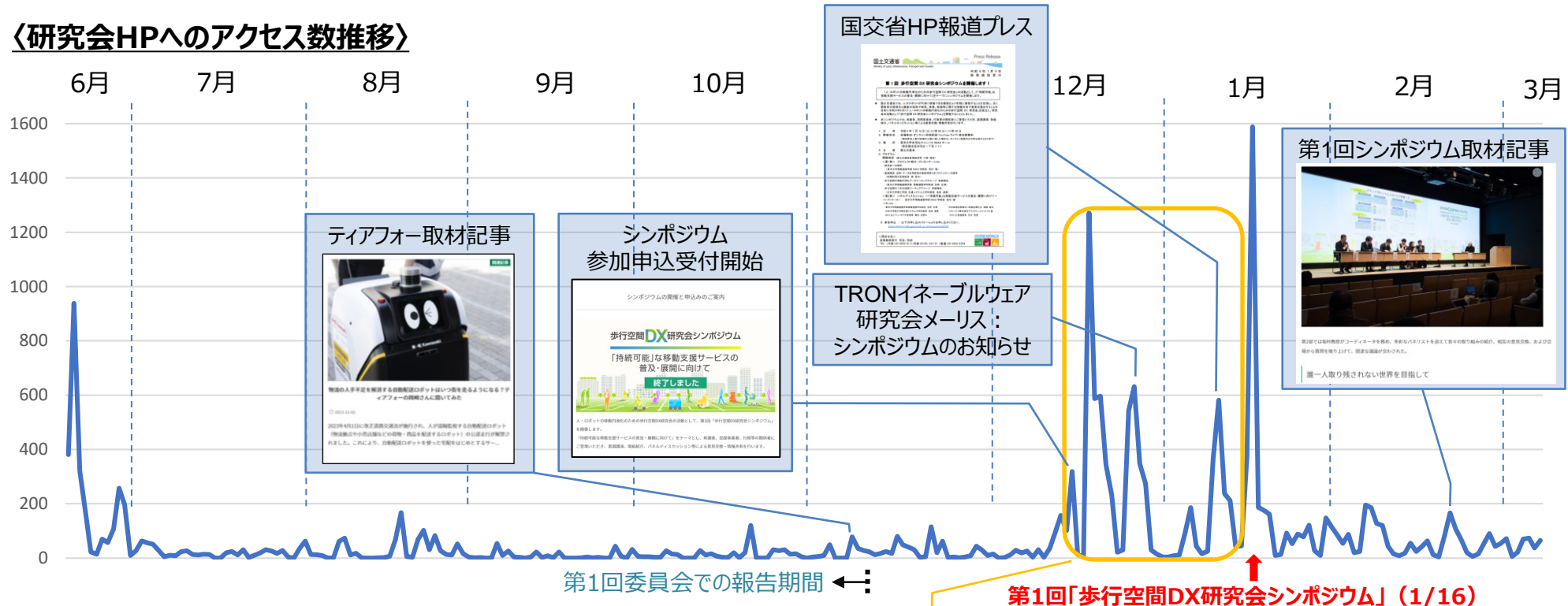
ほこナビ・プロジェクトへの期待

2024-01-29

NECプラットフォームズ株式会社浅見駿太さん 障がいをもつ方が安心して歩行空間を移動できるようになるためには、歩行空間におけるバリアフリー化の推進だけでなく、歩行空間や移動先の施設におけるバリアフリーに関する詳細な情報が...

シンポジウムの開催期間中には段階的な広報と連動して、アクセス数が増加する傾向が見られた。  
 (研究会メーリスに記載されているURLからも参加申込ページへ多くのアクセスがあったことを確認)  
 シンポジウム開催後の活動報告ページには、X (旧Twitter) からの誘導をはじめアクセス数が増加傾向。

## 〈研究会HPへのアクセス数推移〉

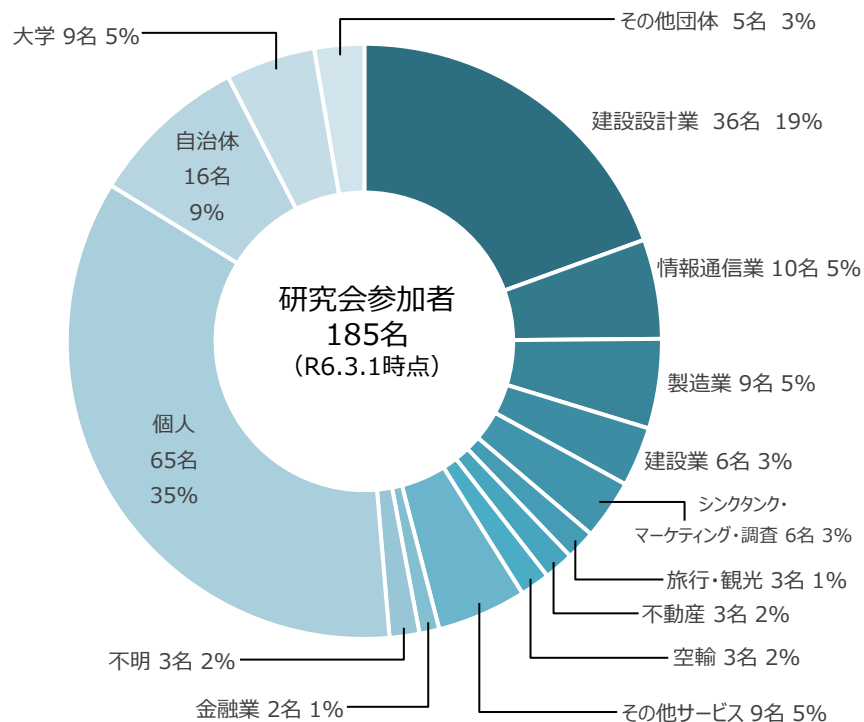


シンポジウム参加申込受付期間中は、研究会HPにアクセス数が多い日に参加申込が集中している。

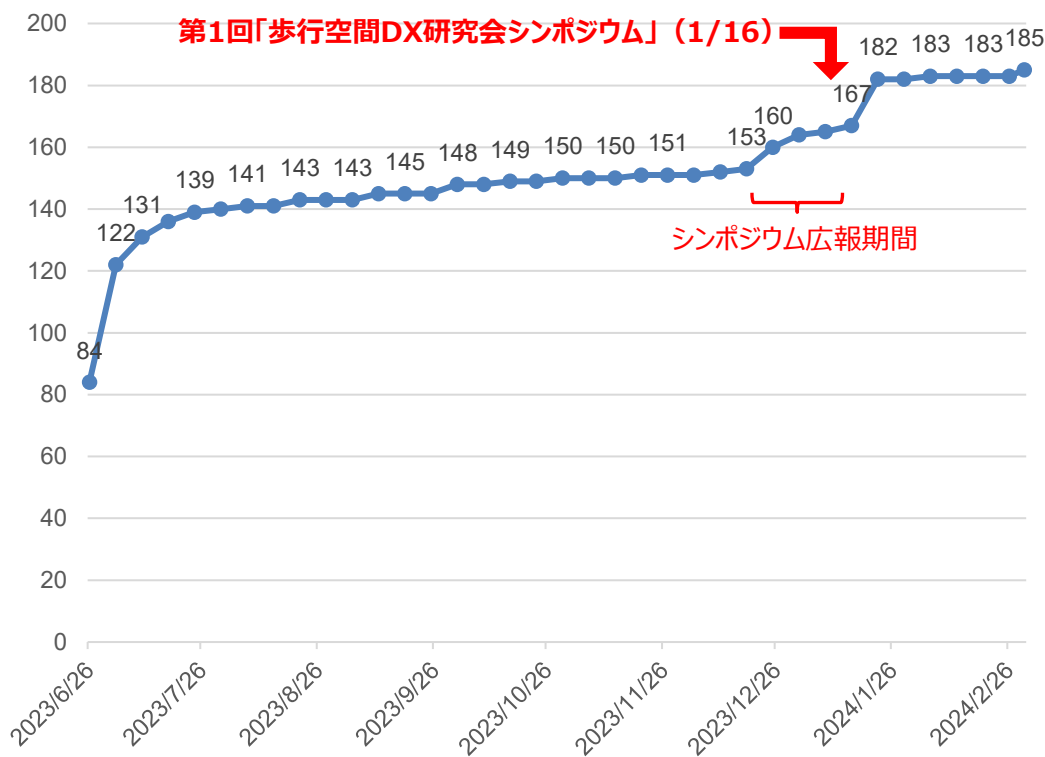
- シンポジウム申込514件のうち、
- 12月18日 : 54件
  - 12月26日 : 59件
  - 1月10日 : 63件

- 研究会の所属別分類では、民間企業、一般市民に次いで自治体が多い。
- 研究会の設置・ホームページの新規開設（2023年6月）に合わせて参加登録者が増加。
- シンポジウム広報期間及びシンポジウム開催直後に登録者が増加。

### 参加登録者の分類



### 研究会への会員申込み数推移



※研究会への参加は、本研究会の目的の実現に意欲的な個人として募集



## 研究会員用の特設ページ

シンポジウムのアーカイブ動画の視聴等、会員限定の特設ページの作成による参加申込の促進

第1回 歩行空間DX研究会シンポジウム

開催日時：2024年1月16日（火） 15:00～17:30



第1回「歩行空間DX研究会シンポジウム」YouTubeアーカイブ動画等を研究会員向けに限定公開

⇒ 動画視聴の案内と合わせて、研究会員の参加申込を促進

## メーリングリストを活用した情報提供・共有

研究会員への情報提供



札幌市「車いす冬季移動支援ツール体験会」レポート

2024-03-12

2024年2月1日（木）札幌市において、「車いす冬季移動支援ツール体験会」が行われた。札幌市では、市の総合計画である「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン（2022年度～2031年度）」において、今後のまちづくりの重要概念...



JR川崎駅周辺で多様な3次元点群データを自動配送ロボットの走行に活用するための実証を行いました。

2024-01-24

2023年12月18日（月）～20日（水）の3日間、JR川崎駅周辺において、歩行空間における移動支援サービスの普及・高度化に向け、多様な3次元点群データを自動配送ロボット等の走行に活用するための実証を行いました。国土交...

例）シンポジウム開催時や国交省プレス、独自取材記事作成時に発信

研究会員同士の情報共有

会員登録することで、研究会員全体にメールを発信することができるメーリングリストが使用可能に。



メーリングリスト  
「〇〇〇〇@××.△△」

研究会員  
全体



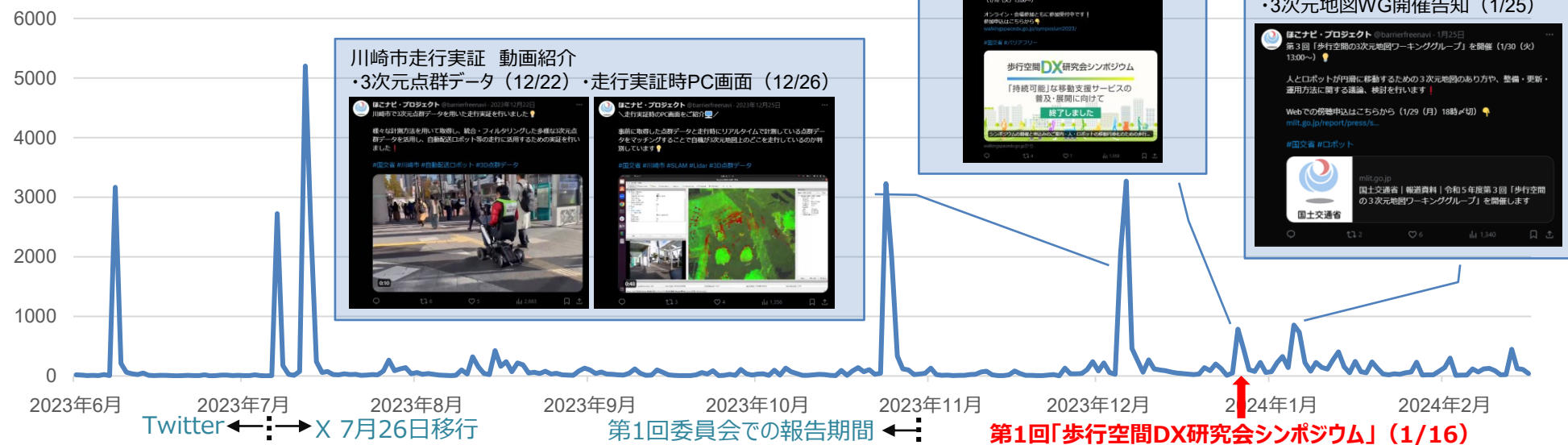
⇒ 会員から研究会員全体にメーリングリストを用いて情報を発信・共有

# X(旧Twitter)を活用した広報活動



歩行空間DX研究会シンポジウムの広報期間と開催月（12月～翌年1月）にかけて、フォロワー数の上昇が見られる。12月には、旧TwitterからXへの移行後、最大のインプレッション数（7,822）、12月に投稿した川崎市での実証動画ポストにて2件とも1,000を超える高インプレッション数を記録。

## <X投稿のインプレッション数（表示回数）推移>



## <月別の投稿 集計結果>

集計月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フォロワー数	182	186	187	188	189	190	216	231	230	233
新規投稿数	1	1	9	8	5	7	10	9	7	1
リポスト数	3	2	21	14	10	13	20	19	3	3
いいね数	3	1	35	18	9	34	42	50	31	6
インプレッション数	3,872	2,967	10,442	2,596	1,122	6,834	7,822	5,887	3,121	848

リポスト数・投稿を他ユーザーが引用し、再投稿した回数

いいね・投稿が他ユーザーのお気に入り登録され、共感を示された回数

インプレッション・投稿が他ユーザーの画面に表示された回数



# (参考) インプレッション数 ランキング (11月～翌3月)



	内容	リポスト (リツイート)	いいね	インプレッション	投稿月	ポスト (ツイート)
1	<b>「#歩行空間DX研究会シンポジウム」開催</b> (1/16 (火) 15:00～) 『持続可能な移動支援サービスの普及・展開に向けて』をテーマに、基調講演、取組紹介、パネルディスカッション等による意見交換・情報共有を行います。 参加申込はこちらから👉	8	6	3,805	12月	
2	<b>【動画】川崎市で3次元点群データを用いた走行実証を行いました</b> (1/16 (火) 15:00～) 様々な計測方法を用いて取得し、統合・フィルタリングした多様な3次元点群データを活用し、自動配送ロボット等の走行に活用するための実証を行いました！	6	5	2,661	12月	
3	<b>【動画】\走行実証時のPC画面をご紹介</b> / 事前に取得した点群データと走行時にリアルタイムで計測している点群データをマッチングすることで自機が3次元地図上のどこを走行しているのか判別しています👉	3	4	1,356	12月	
4	<b>第3回「歩行空間の3次元地図ワーキンググループ」を開催</b> (1/30 (火) 13:00～) (1/29 (月) 18時メ切) 人とロボットが円滑に移動するための3次元地図のあり方や、整備・更新・運用方法に関する議論、検討を行います！ Webでの傍聴申込はこちらから👉	2	6	1,339	1月	
5	<b>「#歩行空間DX研究会シンポジウム」明日開催</b> (1/16 (火) 15:00～) オンライン・会場参加ともに参加受付中です！ 参加申込はこちらから👉	4	7	1,057	1月	
6	<b>色々な方法で取得、つなぎ合わされた3次元点群データを自動配送ロボット等の走行に活用するための実証が紹介されています！</b> 「ロボット・車いす歩行スムーズに…3D点群データ活用が拓く未来」はこちら👉	3	5	515	1月	
7	<b>【取材記事】筑波技術大学の先生方に視覚障がい者の移動を支援する技術動向についてお話を伺いました</b> 生成AIを使った「Be My AI」、歩行支援アプリ「Eye Navi」等の可能性や国交省の「歩行空間ナビプロジェクト」への期待についてお聞きしました👉	4	7	495	3月	
8	<b>海外でも「#自動運転配送ロボット」が小包を配達</b> ヘルシンキ市でも自動配送ロボットの実証実験が行われています。	2	3	473	12月	

# X(旧Twitter)の投稿方針

## 固定ポストの活用によるフォロワー数の増加

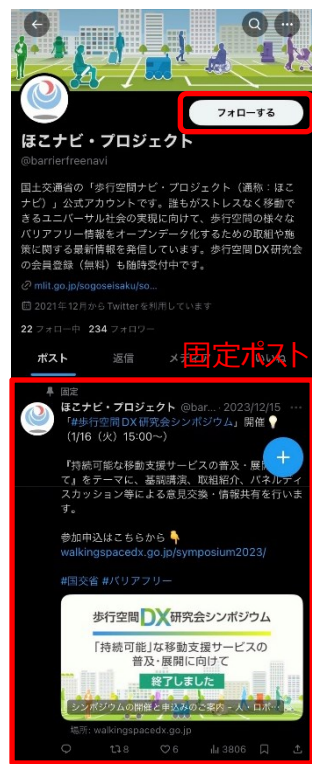
シンポジウム等のイベント期間中に開催案内ポストや高インプレッションのポストをアカウントトップに固定



イベント案内のポスト



高インプレッションポスト



Xアカウント画面

フォロワーの促進

ポストからアカウントトップへ誘導することで、フォローの機会の増加を期待  
 ※フォローボタンはアカウントトップにしかないため、フォロー促進のためにはアカウントトップへの誘導が必要

## 動画を活用したポストの投稿

実証等の施策の取組みをショート動画にまとめてポスト



川崎市実証の動画  
(2,661インプレッション)



自己位置推定処理のPC画面動画  
(1,356インプレッション)

動画投稿により、閲覧数の増加が見込めるため、継続的な投稿を実施

## アンバサダーによる活動周知

アンバサダーからの引用ポスト・いいねによる周知



イベント開催案内



アンバサダーからの引用ポスト・いいね等

多くのフォロワーをもつXアカウントからの反応で一般の方にも広く周知